

一般社団法人 聖路加看護学会
会員総会記録

日 時：2016年9月17日（土）9:00-9:30

場 所：聖路加国際大学 アリス C. セントジョンメモリアルホール

出席理事：松谷美和子理事長、有森直子理事、小林京子理事、中村めぐみ理事、奥裕美理事

出席監事：菱沼典子監事

会員出席者数：約30名

司 会：吉田俊子第21回学術大会長

議事録作成：小林京子、奥裕美

1. 開会

松谷美和子理事長より、開会の宣言がされ、挨拶があった。

2. 2015年度事業報告

1) 理事会および評議員会報告（松谷理事長）

(1) 理事会および評議員会報告

- ・ 理事会は8回、評議員会は1回開催した。

2) 庶務報告（奥理事）

(1) 庶務報告

- ・ 会員数、新入会員、退会者数が報告された。

2015年4月1日会員数 619名

2015年度新入会者数 42名

2015年度末退会者数 51名（希望退会23名、会員資格喪失者28名）

(2) 活動報告

- ・ 理事会・評議員会開催の年間予定作成、書面理事会開催、看保連への登録、学会ウェブサイトの更新、諸団体からの受賞候補者推薦依頼への対応、他団体との連携、入会勧誘、問い合わせ対応、ニュースレター・学会誌送付準備と送付、滞納会費納入者への対応などを行った。

3) 会計報告（中村理事）

(1) 会計報告

- ・ 2015年度会費納入率73.7%（2016年3月末、2015年度退会者含）

年会費納入者数479名、未納者171名

- ・ 2015年度も税理士の指導もと、会計処理を行った（配布資料あり）

(2) 監査報告

- ・ 2016年5月13日に小松監事により監査を受けた。平成27年4月1日から平成28年3月31日までの貸借対照表、正味財産増減計画書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致しており、不正はないと認める旨理事会及び評議員会に報告し、承認が得られた。

4) 各委員会報告

(1) 聖路加看護学会誌編集委員会（有森理事）

- ・ 学会誌は19巻1号720部、19巻2号を660部発行した。
- ・ 投稿規定を2015年9月18日付で改訂した。

- ・ 利益相反に関する手引き、申告書を作成した。利益相反の申告があった投稿者に対し、運用を開始した。
- ・ オンライン投稿・査読システムが安定的に運用されている。2015年11月に一部システムの改修を行った。
- ・ 投稿はいつでも受け付けており、募集している。

(2) ニュースレター委員会（小林理事）

- ・ 第36号、第37号を発行し、それぞれウェブサイトに掲載した。

(3) 学術交流委員会（小林理事）

- ・ 2015年9月19日（土）青木美紀子氏による学術交流会を開催。
- ・ 看護実践科学研究助成基金による研究助成（2015年度2件）を行った。

(4) 高度実践看護開発検討委員会（小林理事）

- ・ 一般社団法人看護系学会等社会保険連合（看保連）会議等に出席した。

(5) 将来構想委員会（小林理事）

- ・ 一般社団法人となり、2016年に設立20周年を迎えるにあたり、学会の将来について検討すべきという理事会の提案により2015年度に発足した。
- ・ 一般社団法人として、より一層社会に貢献できる学会となるため、学会名称の変更と、学会誌公表のルートの変更を理事会に提案した。

3. 2016年度事業経過報告（松谷理事長）

- 1) 第21回学術大会の開催
- 2) 学会誌の発行（第20巻1、2号）
- 3) ニュースレターの発行（第38、39号）
- 4) 会員相互の学術的交流
- 5) 看護実践科学研究の推進
- 6) 日本看護系学会協議会、看護系学会等社会保険連合などへの参加

4. 第23回学術大会長について

野末聖香氏（慶応義塾大学）

5. 名誉会員紹介閉会

青木康子氏

松谷理事長より、これまでの貢献への感謝の言葉とともに花束と会員証が贈呈された。

6. 閉会

松谷理事長より閉会の挨拶があり、引き続き第22回学術大会長が紹介された。

7. 第22回学術大会長の挨拶

第22回学術大会長 亀井智子氏より、第22回学術大会について、以下の通りに開催する旨の紹介があった。

テーマ「超高齢社会を支える People-Centered Nursing Care の開発」

会期 2017年9月16日（土）

会場 聖路加国際大学大村進・美枝子記念臨床学術センター（C C A）

また、2016年3月にオープンしたC C Aを使用しての初めての学会となるため楽しみにしてほしい、たくさんのご参加をお待ちしていると挨拶があった。

以上（文責 小林京子、奥裕美）